

うきよえ
こども浮世絵しんぶん
 第12号藤澤浮世絵館5月発行



うたがわくにさだ (三代豊国) 「東海道五十三次之内 藤沢図」

やあやあ! 突然だけど、今回は間違い探しじゃなくて
 同じもの探しだよ! この二つの絵はどちらも藤沢宿を描
 いてるよ。ちがう人が
 描いたんだけど、なん
 だかにてるよね。同じ
 ものはいくつあるか
 な? 二つの絵を見比
 べてみよう!

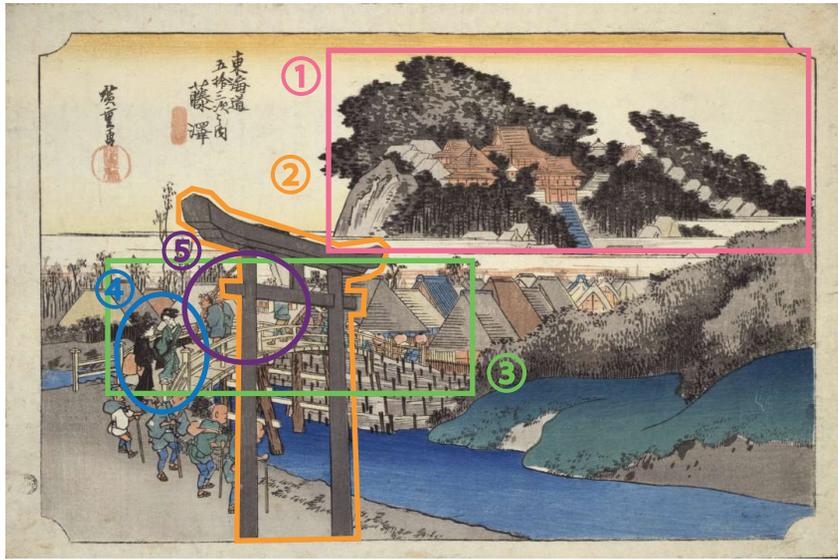
ア 「美人東海道」



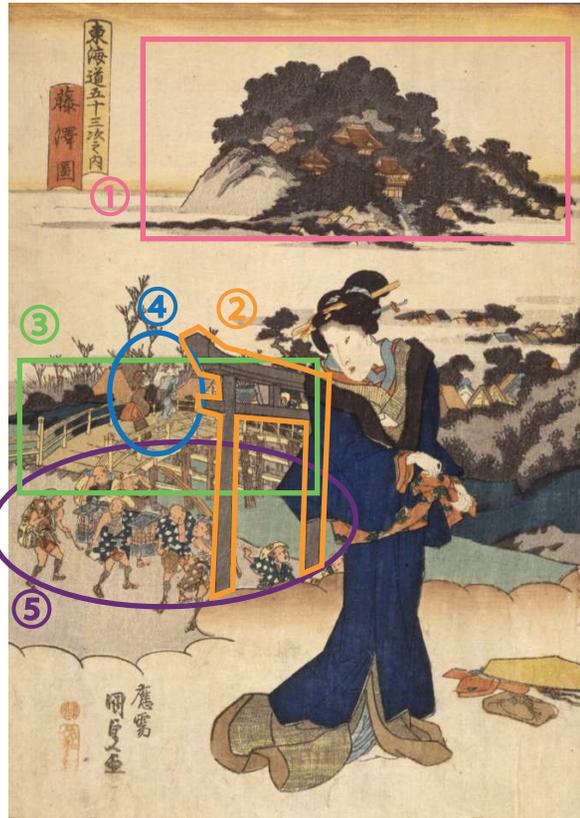
イ 「保永堂版東海道」



うたがわひろしげ (とうかいどうごじゅうさんつぎのうち) 藤沢 遊行寺



ほえいどうばんとうかいどう
イ「保永堂版東海道」



びじんとうかいどう
ア「美人東海道」



いくつ見つけられたかな？
答え合わせだよ。

こたえ

1 島みたいに見える山

どちらの絵も、まるで海みたいに広がる白い雲に浮かんでいるように描かれているね。これは遊行寺だよ。

2 江の島一ノ鳥居

どちらの図にも鳥居が描かれているよ。これはむかし藤沢宿にあった江の島一ノ鳥居で、江の島に向かう道の目印だったんだ。

3 大鋸橋

どちらの図も鳥居の後ろに丸い橋が描かれているね。これは大鋸橋で、いまは遊行寺橋って名前になっているよ。

4 橋を渡る女の人二人組

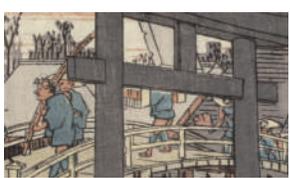
橋を渡る女の人二人組が同じポーズで描かれているね。でもアの図だと橋を真ん中までわたっているけど、イの図だと橋を渡り始めているね。

5 大山詣のひとたち

これはかなり難しいよ。実はアの図で鳥居をくぐっているひとたちはイの図で橋の上にいるひとたちと同じなんだ。どちらの図でも大きな刀のかたちをした木を持っているね。このひとたちは大山にお参りに行くんだよ。



ア



イ



答え合わせを見て気づいたか
もしれないけど、実はこの二つ
の絵は風景が同じなんだ！

この絵は歌川広重が描いた「東
海道五拾三次之内 藤沢 遊行
寺」で、「保永堂版東海道」って
呼ばれているシリーズの一枚だ

よ。「保永堂版東海道」は東海道の風景を描
いた広重の大ヒットシリーズなんだ。広重
はこのシリーズがきっかけで売れっ子浮世
絵師になったんだよ。

アの作品は歌川国貞が描いた「東海道五
十三次之内 藤沢図」っていう絵で、通称「美
人東海道」ってよばれるシリーズなんだ。
東海道の風景を背景にしていろんなかっこ
うをした女の人を前に描いているのが特徴
だよ。「美人東海道」の背景は、ほとんどの
図が「保永堂版東海道」の風景を背景に使っ



ているんだ。これはこっそり使ったん
じゃなくて、浮世絵を出版する版元が先
輩の人気絵師だった国貞に、まだ人気の
なかった広重の絵を宣伝してもらうため
に頼んだからっていわれてるんだ。今で
いうと売れっ子マンガ家が、新人マンガ
家の宣伝に協力するみたいなことだよ。
国貞は広重が人気浮世絵師に仲間入りし
てからは、コラボして浮世絵を描いたり
していて仲良しだったみたいだよ。

浮世絵師は浮世絵を描く
人たちのことだよ。
版元は今でいう出版社！
浮世絵師に浮世絵を描く
ことを頼んで、完成した
浮世絵を宣伝して、売る
ところなんだ。

